



増田編集委員が取材したチョウや植物の写真が並ぶ企画展

県内の動植物の生態系を写真で捉えた「増える変わる生態系展」と、ギリシャ神話の世界を昆虫で表現した標本箱などを展示する企画展「神話と星座と虫の名と」が青木村田沢の信州昆虫資料館で同時開催されている。

「増える変わる生態系展」は、信濃毎日新聞の増田今雄編集委員(67)が本紙に連載した写真企画をまとめた著書「増える変わる生態系の行方」(信濃毎日新聞社刊)の中から主な内容を抜粋。近年変化しているといわれる県内

「生態系」「神話」企画展同時に

青木の信州昆虫資料館 来月末まで

の動植物の生態系を実際に取材して確認した。写真は、美ヶ原高原に現れたニホンジカや県天然記念物のホンドオコジヨなど33点が並ぶ。

「神話と星座と虫の名と」は例えば、ギリシャ神話に登場する「アポロとダフネ」の一場面をアポロチョウとヒヨウモンチョウの標本で表現。

ウモンチョウの標本で表現。神話に登場する神の名前にちなんだチョウや星座も紹介している。標本箱は、とちぎ昆虫愛好会の新部公亮さん(栃木県日光市)が作成した。館長代理の野原未知さんは

二つの企画展について「子どもから大人までじっくりと楽しめる内容」と話している。ギャラリートークでは、11月3日午前10時から、新部さんが標本制作への思いを話す。11月13日午後1時からは、増田さんが取材中のエピソードや生態系の実態を話す。

展示は11月30日まで。午前10時～午後5時(11月は午後4時まで)、火曜休館。入場料300円(中学生以下無料)。問い合わせは信州昆虫資料館(☎0268・37・3988)へ。